

大学番号 065

注3

設置年度 平成 31年度
計画の区分： 研究科の設置
注1

事前伺い

広島大学大学院 医系科学研究科 総合健康科学専攻(博士課程後期)

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人広島大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 財務・総務室財務・総務部総務グループ

職名・氏名 シュニン キタ ヨウコ
主任・北 陽子

電話番号 082-424-6014

(夜間) 082-424-6014

e-mail soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医系科学研究科

＜総合健康科学専攻(博士課程後期)＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	58
7. その他全般的事項	59

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人広島大学

(2) 大学名

広島大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒734-8553

広島県広島市南区霞一丁目2番3号

(本部：〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オチ ミツオ) 越智 光夫 (平成27年4月)		
研究科長	(オオダン ヒデキ) 大段 秀樹 (平成31年4月)	(マルヤマ ヒロフミ) 丸山 博文 (令和3年4月)	前研究科長の任期満了に伴う変更(令和3年4月1日)(3)
専攻長	(オカムラ ヒトシ) 岡村 仁 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医系科学研究科 総合健康科学専攻 (博士課程後期) 博士(医科学) 博士(歯科学) 博士(薬科学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(口腔健康科学) 博士(学術)	医学関係 歯学関係 薬学関係 保健衛生学関係(看護学関係) 保健衛生学関係(リハビリテーション関係) 保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	3年	25人	年次人 -	75人		基礎となる学部等 医学部 歯学部 薬学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	()	()	()	()	25 ()	25 ()	25 ()	()	()	()	1.09倍	-	
志願者数	()	()	()	()	18 [5]	8 [7]	21 [2]	10 [6]	33 [10]	()			
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
入学定員超過率 B/A					0.80	1.16	1.32						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	14 [3] (-)	6 [5] (-)	21 [2] (-)	8 [4] (-)	33 [10] (-)	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		14 [3] (-)	6 [5] (-)	21 [2] (-)	8 [4] (-)	
3年次			/				[] ()	[] ()	/		14 [3] (-)
4年次	/				/		/				/
計			[] ()	[] ()					[8] (-)	[14] (-)	

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	20人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	49人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	82人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{49} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{82} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医系科学研究科 総合健康科学専攻（博士課程後期）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	持続可能な発展科目 SDGsアイディアメイニング学生セミナー	1・2・3①		1								1
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3		1								1
	普遍的平和を目指して	1・2・3④		1								4
	データサイエンス	1・2・3④		2								1
	パターン認識と機械学習	1・2・3②		2								1
	データサイエンティスト養成	1・2・3		1								1
	医療情報リテラシー活用	1・2・3③		1								9
	リーダーシップ手法	1・2・3①		1								1
	高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント	1・2・3②④		1								1
	イノベーション演習	1・2・3③		2								1
	長期インターンシップ	1・2・3		2								1
小計(11科目)	-	0	15	0	0	0	0	0	0	0	18	
研究科共通科目	生命・医療倫理学B	1①	1			1						7
	研究方法論B	1①		1		3						6
	アドバンスド生命科学コースワーク	1③		1								1
	バイオメディカルサイエンスの創生展開	1③		1		2						7
	生体医工学イノベーションB	1①		1								7
	多職種連携B	1①	1			4						4
小計(6科目)	-	2	4	0	10	0	0	0	0	0	28	
専攻共通科目	臨床腫瘍学	1①		1								9
	放射線統合医科学	1①		1		1						7
	薬物治療学	1③		1								4
	がん診療各論	1①		1								8
	Environment and Health	1①		1		1	1					
Research Methodology and	1③		1		1	1						

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	持続可能な発展科目 SDGsアイディアメイニング学生セミナー	1・2・3②④		1								8
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3③		1								2
	普遍的平和を目指して	1・2・3①②④		1								9
	データサイエンス	1・2・3③④		2								2
	パターン認識と機械学習	1・2・3④		2								2
	データサイエンティスト養成	1・2・3②		1								3
	医療情報リテラシー活用	1・2・3③		1			1					7
	リーダーシップ手法	1・2・3前④		1								2
	高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント	1・2・3②④		1								2
	イノベーション演習	1・2・3③		2								3
	長期インターンシップ	1・2・3前後		2								2
事業創造概論	1・2・3①		1								1	
小計(12科目)	-	0	16	0	1	0	0	0	0	0	34	
研究科共通科目	生命・医療倫理学B	1③	1			1						8
	研究方法論B	1①		1		4			1			10
	アドバンスド生命科学コースワーク	1③		1								1
	バイオメディカルサイエンスの創生展開	1③		1		2						7
	バイオデザイン概論B I	1前		1								4
	バイオデザイン概論B II	1後		1								5
多職種連携B	1②	1			4						4	
小計(7科目)	-	2	5	0	11	0	0	1	0	0	35	
専攻共通科目	臨床腫瘍学	1①		1		1						6
	放射線統合医科学	1①		1		2						6
	薬物治療学	1④		1								7
	がん診療各論	1①		1		2						7
	Environment and Health	1①		1		1	1					
Research Methodology and	1③		1		1	1						

Health System Management											
小計(6科目)	ー	0	6	0	2	1	0	0	0	25	
ヘルスプロモーション研究法論	1後		2		7						
Advanced Research Methodology in Health Science	1前		2		1	1					
Advanced Statistics in Health Science	1後		2		1						
Global Health Challenges and Solutions II	1後		2		1	1				1	
健康推進科学特講	1前		2		1						
健康情報学特講	1前		2		1					1	
基礎看護技術開発学特講	1前		2		1						
助産・母性看護方法開発学特講	1前		2		1					1	
小児看護方法開発学特講	1前		2		1						
成人看護方法開発学特講	1前		2		1						
成人健康学特講	1前		2		1						
老年・がん看護方法開発学特講	1前		2		1						
精神保健看護方法開発学特講	1前		2		1						
地域・在宅看護方法開発学特講	1前		2		1						
地域・学校看護方法開発学特講	1前		2		1						
健康推進科学特講演習	1前・後		2		1						
健康情報学特講演習	1前・後		2		1					1	
基礎看護技術開発学特講演習	1前・後		2		1						
助産・母性看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1		1				
小児看護方法開発学特講演習	1前		2		1						
成人看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
成人健康学特講演習	1前・後		2		1						
老年・がん看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
精神保健看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
地域・在宅看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1		1				
地域・学校看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
看護開発科学特別研究	1~3		6		10						
生体構造学特講	1前		2		1						

Health System Management											
小計(6科目)	ー	0	6	0	6	1	0	0	0	24	
ヘルスプロモーション研究法論	1後		2		8						
Advanced Research Methodology in Health Science	1前		2		1	2					
Advanced Statistics in Health Science	1後		2		1					1	
Global Health Challenges and Solutions II	1後		2		1	1					0
国際保健看護学特講	1前		2		1						
健康情報学特講	1前		2		1					1	0
基礎看護技術開発学特講	1前		2		1						0
助産・母性看護方法開発学特講	1前		2		1						0
小児看護方法開発学特講	1前		2		1						
成人看護方法開発学特講	1前		2		1						
周手術期・クリティカルケア開発学特講	1前		2		1					1	
老年・がん看護方法開発学特講	1前		2		1						
精神保健看護方法開発学特講	1前		2		1						
地域保健看護方法開発学特講	1前		2		1						
地域・学校看護方法開発学特講	1前		2		1						
国際保健看護学特講演習	1前・後		2		1						
健康情報学特講演習	1前・後		2		1					1	0
基礎看護技術開発学特講演習	1前・後		2		1						
助産・母性看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1		1				
小児看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
成人看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
成人健康学特講演習	1前・後		2		1					1	
老年・がん看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
精神保健看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
地域・在宅看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1					0	
地域・学校看護方法開発学特講演習	1前・後		2		1						
看護開発科学特別研究	1~3		6		11	1	1				
生体構造学特講	1前		2		1						

卒業要件及び履修方法

1. 保健科学プログラム
修了に必要な単位数を22単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- 修了要件単位数：22単位
- (1) 大学院共通科目：2単位以上（持続可能な発展科目及びキャリア開発・データリテラシー科目から、それぞれ1単位以上を履修）
(2) 研究科共通科目：4単位以上（ただし、生命・医療倫理学B及び多職種連携Bを必修）
(3) 専攻共通科目：2単位以上
(4) プログラム専門科目：14単位以上（専門共通から2単位以上（ヘルスプロモーション研究法論の履修を推奨）、看護学及び保健学領域の履修者については、特講から2単位以上、演習から2単位以上、特別研究から6単位、口腔健康科学領域の履修者については、特講から2単位以上、演習から4単位以上、特別研究から6単位）
2. 薬科学プログラム
修了に必要な単位数を22単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- 修了要件単位数：22単位
- (1) 大学院共通科目：2単位以上（持続可能な発展科目及びキャリア開発・データリテラシー科目から、それぞれ1単位以上を履修。ただし、キャリア開発・データリテラシー科目からは、データリテラシー関係の科目の履修を推奨。）
(2) 研究科共通科目：4単位以上（ただし、生命・医療倫理学B及び多職種連携Bを必修）
(3) 専攻共通科目：2単位以上
(4) プログラム専門科目：14単位以上（薬科学特講を含む講義科目から4単位以上、特別演習4単位、特別研究6単位を必修）
3. 生命医療科学プログラム
修了に必要な単位数を22単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- 修了要件単位数：22単位
- (1) 大学院共通科目：2単位以上（持続可能な発展科目及びキャリア開発・データリテラシー科目から、それぞれ1単位以上を履修。ただし、キャリア開発・データリテラシー科目からは、データリテラシー関係の科目の履修を推奨。）
(2) 研究科共通科目：4単位以上（ただし、生命・医療倫理学B及び多職種連携Bを必修）
(3) 専攻共通科目：2単位以上
(4) プログラム専門科目：14単位

卒業要件及び履修方法

1. 保健科学プログラム
修了に必要な単位数を22単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- 修了要件単位数：22単位
- (1) 大学院共通科目：2単位以上（持続可能な発展科目及びキャリア開発・データリテラシー科目から、それぞれ1単位以上を履修）
(2) 研究科共通科目：4単位以上（ただし、生命・医療倫理学B及び多職種連携Bを必修）
(3) 専攻共通科目：2単位以上
(4) プログラム専門科目：14単位以上（専門共通から2単位以上（ヘルスプロモーション研究法論の履修を推奨）、看護学及び保健学領域の履修者については、特講から2単位以上、演習から2単位以上、特別研究から6単位、口腔健康科学領域の履修者については、特講から2単位以上、演習から4単位以上、特別研究から6単位）
2. 薬科学プログラム
修了に必要な単位数を22単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- 修了要件単位数：22単位
- (1) 大学院共通科目：2単位以上（持続可能な発展科目及びキャリア開発・データリテラシー科目から、それぞれ1単位以上を履修。ただし、キャリア開発・データリテラシー科目からは、データリテラシー関係の科目の履修を推奨。）
(2) 研究科共通科目：4単位以上（ただし、生命・医療倫理学B及び多職種連携Bを必修）
(3) 専攻共通科目：2単位以上
(4) プログラム専門科目：14単位以上（薬科学特講を含む講義科目から4単位以上、特別演習4単位、特別研究6単位を必修）
3. 生命医療科学プログラム
修了に必要な単位数を22単位以上とし、以下のとおり、単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
- 修了要件単位数：22単位
- (1) 大学院共通科目：2単位以上（持続可能な発展科目及びキャリア開発・データリテラシー科目から、それぞれ1単位以上を履修。ただし、キャリア開発・データリテラシー科目からは、データリテラシー関係の科目の履修を推奨。）
(2) 研究科共通科目：4単位以上（ただし、生命・医療倫理学B及び多職種連携Bを必修）
(3) 専攻共通科目：2単位以上
(4) プログラム専門科目：14単位

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	持続可能な発展科目 スペシャリスト型SDGsアイデアマインニング学生セミナー	1・2・3前 後		1							7
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3前		1						1	
	普遍的平和を目指して	1・2・3前 ②④		1						8	
	データサイエンス	1・2・3前 ④		2						1	
	パターン認識と機械学習	1・2・3前 ②		2						1	
	データサイエンティスト養成	1・2・3前		1						1	
	医療情報リテラシー活用	1・2・3前 ④		1						9	
	リーダーシップ手法	1・2・3前 ①		1						1	
	高度イノベーション人財のためのキャリアマネジメント	1・2・3前 ②④		1						1	
	イノベーション演習	1・2・3前 ③		2						1	
長期インターンシップ	1・2・3前 後		2						1		
小計(11科目)			0	15	0	0	0	0	0	0	28
研究科共通科目	生命・医療倫理学B	1①	1			1					8
	研究方法論B	1①		1		4					11
	アドバンスド生命科学コースワーク	1③		1							1
	バイオメディカルサイエンスの創生展開	1③		1		2					7
	バイオデザイン概論B I	1前		1							4
	バイオデザイン概論B II	1後		1							5
	多職種連携B	1②	1			4					4
小計(7科目)			2	5	0	11	0	0	0	0	34
専攻共通科目	臨床腫瘍学	1①		1		1					7
	放射線統合医科学	1①		1		2					5
	薬物治療学	1③		1							4
	がん診療各論	1①		1		2					7
	Environment and Health Research	1①		1		1	1				
	Methodology and Health System Management	1③		1		1	1				
小計(6科目)			0	6	0	6	1	0	0	0	22
ヘルスプロモーション研究法論	Advanced Research Methodology in Health Science	1後		2		7					
	Statistics in Health Science	1前		2		1	1			2	
	Global Health Challenges and Solutions II	1後		2		1	1			1	
	健康推進科学特講(未開講)	1前		2		0					
	健康情報学特講	1前		2		1		1			0
	基礎看護技術開発学特講	1前		2		1					
	助産・母性看護方法開発学特講	1前		2		1					1
	小計(8科目)				14		10	2			

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	持続可能な発展科目 スペシャリスト型SDGsアイデアマインニング学生セミナー	1・2・3前 後		1							8
	SDGsの観点から見た地域開発セミナー	1・2・3前 ③		1						1	
	普遍的平和を目指して	1・2・3前 ①②④		1						9	
	データサイエンス	1・2・3前 ③		2						1	
	パターン認識と機械学習	1・2・3前 ④		2						1	
	データサイエンティスト養成	1・2・3前 ②		1						2	
	医療情報リテラシー活用	1・2・3前 ③		1			1			8	
	リーダーシップ手法	1・2・3前 ③		1						2	
	高度イノベーション人財のためのキャリアマネジメント	1・2・3前 ②④		1						1	
	イノベーション演習	1・2・3前 ③		2						3	
長期インターンシップ	1・2・3前 後		2						1		
小計(12科目)			0	16	0	1	0	0	0	0	32
研究科共通科目	生命・医療倫理学B	1①	1			1					8
	研究方法論B	1①		1		4					11
	アドバンスド生命科学コースワーク	1③		1							1
	バイオメディカルサイエンスの創生展開	1③		1		2					7
	バイオデザイン概論B I	1前		1							4
	バイオデザイン概論B II	1後		1							5
	多職種連携B	1②	1			4					4
小計(7科目)			2	5	0	11	0	0	0	0	35
専攻共通科目	臨床腫瘍学	1①		1		1					6
	放射線統合医科学	1①		1		2					6
	薬物治療学	1③		1							6
	がん診療各論	1①		1		2					7
	Environment and Health Research	1①		1		1	1				
	Methodology and Health System Management	1③		1		1	1				
小計(6科目)			0	6	0	6	1	0	0	0	23
ヘルスプロモーション研究法論	Advanced Research Methodology in Health Science	1後		2		7					
	Statistics in Health Science	1前		2		1	1			1	
	Global Health Challenges and Solutions II	1後		2		1	1				
	健康推進科学特講(未開講)	1前		2		0				2	
	健康情報学特講	1前		2		1		1			0
	基礎看護技術開発学特講	1前		2		1					
	助産・母性看護方法開発学特講	1前		2		1					1
	小計(8科目)				14		10	2			

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・学生の履修機会を増やすため、「スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー」の配当年次を「1・2・3①」から「1・2・3前後」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「スペシャリスト型SDGsアイデアマイニング学生セミナー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「SDGsの観点から見た地域開発セミナー」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3前」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「普遍的平和を目指して」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3②④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「普遍的平和を目指して」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「データサイエンティスト養成」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3前」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「医療情報リテラシー活用」の配当年次を「1・2・3③」から「1・2・3④」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「長期インターンシップ」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3前後」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「生命・医療倫理学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「研究方法論B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「バイオデザイン概論BI」を新規科目として開講。
- ・教育課程の充実のため、「バイオデザイン概論BII」を新規科目として開講。
- ・学生の履修機会の確保のため、「多職種連携B」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「臨床腫瘍学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任9」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「放射線総合医科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「兼任・兼任7」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・教員の昇任及び教育課程の充実のため、「がん診療各論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・新任教員の着任により、「Advanced Statistics in Health Science」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教員の昇任により、「健康情報学特講」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の昇任により、「健康情報学特講演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の昇任及び教員の見直しにより、「生体運動・動作解析学特講演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の昇任及び新任教員の着任により、「心身機能生活制御科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授11」に変更。
- ・教員の見直しにより、「薬科学特講」の専任教員等の配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任13」に変更。
- ・教員の着任等により、「特別演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任22」に変更。
- ・教員の着任等により、「特別研究」の専任教員等の配置を「兼任・兼任19」から「兼任・兼任22」に変更。
- ・「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」関連科目について、授業科目の充実のため、次の授業科目を新設した。
「放射線生物学入門」、「ヒロシマ復興史」、「初期被ばく・内部被ばく・疫学演習」、「放射線災害医療学」、「放射線災害復興学」、「短期フィールドワーク」、「長期フィールドワーク/長期インターンシップ」

【令和2年度】

- ・学生の履修機会を増やすため、「スペシャリスト型SDGsアイディアマイニング学生セミナー」の配当年次を「1・2・3①」から「1・2・3②④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「スペシャリスト型SDGsアイディアマイニング学生セミナー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「SDGsの観点から見た地域開発セミナー」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3③」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「普遍的平和を目指して」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3①②④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「普遍的平和を目指して」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「データサイエンス」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3③」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「パターン認識と機械学習」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3④」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「データサイエンティスト養成」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3②」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「データサイエンティスト養成」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「医療情報リテラシー活用」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「リーダーシップ手法」の配当年次を「1・2・3①」から「1・2・3前④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「リーダーシップ手法」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「イノベーション演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「長期インターンシップ」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3前後」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「事業創造概論」を新規科目として開講。
- ・教育課程の充実のため、「生命・医療倫理学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「研究方法論B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任11」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「バイオデザイン概論BI」を新規科目として開講。
- ・教育課程の充実のため、「バイオデザイン概論BII」を新規科目として開講。
- ・学生の履修機会の確保のため、「多職種連携B」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「臨床腫瘍学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任9」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「放射線総合医科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「薬物治療学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教員の昇任及び教育課程の充実のため、「がん診療各論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教員の見直しにより、「Advanced Research Methodology in Health Science」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・新任教員の着任により、「Advanced Statistics in Health Science」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・「健康推進科学特講」の科目名称を「国際保健看護学特講」に変更。
- ・教員の見直しにより、「健康情報学特講」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の見直しにより、「成人看護方法開発学特講」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「健康推進科学特講演習」の科目名称を「国際保健看護学特講演習」に変更。
- ・教員の見直しにより、「健康情報学特講演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の見直しにより、「成人看護方法開発学特講演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の退職により、「地域・在宅看護方法開発学特講演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・新任教員の着任により、「看護開発科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
- ・新任教員の着任により、「脳機能イメージング特講」を新規科目として開講。
- ・教員の昇任及び教員の見直しにより、「生体運動・動作解析学特講演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・新任教員の着任により、「脳機能イメージング特講演習」を新規科目として開講。
- ・教員の昇任及び新任教員の着任により、「心身機能生活制御科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授11」に変更。
- ・教員の見直しにより、「口腔健康科学特講I」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の見直しにより、「口腔健康科学特講II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・学生の履修機会の確保のため、「薬科学特講」の配当年次を「1①②」から「1前」に変更。
- ・教員の見直しにより、「薬科学特講」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「助教0」から「助教1」、「兼任・兼任15」から「兼任・兼任20」に変更。
- ・教員の着任等により、「特別演習」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授12」、「兼任・兼任19」から「兼任・兼任23」に変更。
- ・教員の着任等により、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授12」、「兼任・兼任19」から「兼任・兼任23」に変更。
- ・「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」関連科目について、授業科目の充実のため、次の授業科目を新設した。
「放射線生物学入門」、「ヒロシマ復興史」、「初期被ばく・内部被ばく・疫学演習」、「放射線災害医療学」、「放射線災害復興学」、「短期フィールドワーク」、「長期フィールドワーク/長期インターンシップ」

【令和3年度】

- ・学生の履修機会を増やすため、「スペシャリスト型SDGsアイディアマイニング学生セミナー」の配当年次を「1・2・3①」から「1・2・3②④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「スペシャリスト型SDGsアイディアマイニング学生セミナー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「SDGsの観点から見た地域開発セミナー」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3③」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「SDGsの観点から見た地域開発セミナー」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「普遍的平和を目指して」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3①②④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「普遍的平和を目指して」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任9」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「データサイエンス」の配当年次を「1・2・3④」から「1・2・3③」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「データサイエンス」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「パターン認識と機械学習」の配当年次を「1・2・3②」から「1・2・3④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「パターン認識と機械学習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「データサイエンティスト養成」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3②」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「データサイエンティスト養成」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「医療情報リテラシー活用」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任9」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「リーダーシップ手法」の配当年次を「1・2・3①」から「1・2・3前④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「リーダーシップ手法」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「イノベーション演習」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「長期インターンシップ」の配当年次を「1・2・3」から「1・2・3前後」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「長期インターンシップ」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「事業創造概論」を新規科目として開講。
- ・学生の履修機会を増やすため、「生命・医療倫理学B」の配当年次を「1①」から「1③」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「生命・医療倫理学B」の専任教員等の配置を「兼任・兼任7」から「兼任・兼任8」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「研究方法論B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」、「助教0」から「助教1」、「兼任・兼任6」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「バイオデザイン概論BI」を新規科目として開講。
- ・教育課程の充実のため、「バイオデザイン概論BII」を新規科目として開講。
- ・学生の履修機会を確保のため、「多職種連携B」の配当年次を「1①」から「1②」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「臨床腫瘍学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任9」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「放射線統合医科学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「兼任・兼任7」から「兼任・兼任6」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「薬物治療学」の配当年次を「1③」から「1④」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「薬物治療学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教員の見直しにより、「がん診療各論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授2」、「兼任・兼任8」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「ヘルスプロモーション研究法論」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・教員の見直しにより、「Advanced Research Methodology in Health Science」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・教育課程の充実のため、「Advanced Statistics in Health Science」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の見直しにより、「Global Health Challenges and Solutions II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・「健康推進科学特講」の科目名称を「国際保健看護学特講」に変更。
- ・教員の見直しにより、「健康情報学特講」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の見直しにより、「助産・母性看護方法開発学特講」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・「成人健康学特講」の科目名称を「周手術期・クリティカルケア開発学特講」に変更。
- ・教員の見直しにより、「周手術期・クリティカルケア開発学特講」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「地域・在宅看護方法開発学特講」の科目名称を「地域保健看護方法開発学特講」に変更。
- ・「健康推進科学特講演習」の科目名称を「国際保健看護学特講演習」に変更。
- ・教員の見直しにより、「健康情報学特講演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・学生の履修機会を増やすため、「小児看護方法開発学特講演習」の配当年次を「1前」から「1前・後」に変更。
- ・「成人健康学特講演習」の科目名称を「周手術期・クリティカルケア開発学特講演習」に変更。
- ・教員の見直しにより、「周手術期・クリティカルケア開発学特講演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・「地域・在宅看護方法開発学特講演習」の科目名称を「地域保健看護方法開発学特講演習」に変更。
- ・教員の退職により、「地域保健看護方法開発学特講演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・新任教員の着任及び教員の見直しにより、「看護開発科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」、「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」に変更。
- ・新任教員の着任により、「脳機能イメージング特講」を新規科目として開講。
- ・教員の昇任及び教員の見直しにより、「生体運動・動作解析学特講演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・教員の見直しにより、「感覚運動神経科学特講演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・新任教員の着任により、「脳機能イメージング特講演習」を新規科目として開講。
- ・教員の昇任により、「心身機能生活制御科学特別研究」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」に変更。
- ・教員の見直しにより、「口腔健康科学特講I」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の見直しにより、「口腔健康科学特講II」の専任教員等の配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任0」に変更。
- ・教員の見直しにより、「口腔保健・衛生学特別演習」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教員の見直しにより、「口腔保健・衛生学特別研究」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・学生の履修機会を確保のため、「薬科学特講」の配当年次を「1①②」から「1前」に変更。
- ・教員の見直しにより、「薬科学特講」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授6」、「准教授0」から「准教授1」、「兼任・兼任15」から「兼任・兼任17」に変更。
- ・教員の着任及び見直しにより、「創薬合成化学特別演習」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教員の見直しにより、「微生物医薬品開発学特別演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の着任及び見直しにより、「創薬合成化学特別研究」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教員の見直しにより、「微生物医薬品開発学特別研究」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・教員の着任等により、「特別演習」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」、「助教0」から「助教2」、「兼任・兼任19」から「兼任・兼任40」に変更。
- ・教員の着任等により、「特別研究」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授13」、「助教0」から「助教2」、「兼任・兼任19」から「兼任・兼任40」に変更。

・「放射線災害復興を推進するネットワークスリーター育成プログラム」関連科目について、授業科目の充実のため、次の授業科目を新設した。
 「放射線生物学入門」、「ヒロシマ復興史」、「初期被ばく・内部被ばく・疫学演習」、「放射線災害医療学」、「放射線災害復興学」、「短期フィールドワーク」、「長期フィールドワーク/長期インターンシップ」

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	108 科目	0 科目	110 科目	2 科目 []	119 科目 [11]	0 科目 []	121 科目 [11]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	生体医工学イノベーションB	1	1①	一般	選択	マツダから講師の派遣が困難となった旨の申し入れがあったため、やむを得ず廃止とした。代替措置として、「バイオデザイン概論B1」及び「バイオデザイン概論B2」を新設した。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目については、研究科共通科目の特色である「医系科学分野において共通基盤となる能力を涵養すること」を踏まえた授業科目を新たに設定し、学生には充実した内容を提供することができるため影響は少ないと考える。学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{110} = \boxed{0.9}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	951,632㎡	0㎡	0㎡	951,632㎡			
	運動場用地	244,009㎡	0㎡	0㎡	244,009㎡			
	小 計	1,195,641㎡	0㎡	0㎡	1,195,641㎡			
	そ の 他	1,134,377㎡	0㎡	0㎡	1,134,377㎡			
	合 計	2,330,018㎡	0㎡	0㎡	2,330,018㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	516,466㎡ (516,466㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	516,466㎡ (516,466㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	34室	121室	290室	2室 (補助職員 3人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数					
	医系科学研究科総合健康科学専攻(博士課程後期)		69 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械・器 具	標 本	対象学部等の単位で特定できないため、大学全体の数
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	医系科学研究科総合健康科学専攻(博士課程後期)	3,460,673 [1,290,310]	59,366 [24,323]	5,723 [5,717]	5,034	14,306	133	
計	3,460,673 [1,290,310]	59,366 [24,323]	5,723 [5,717]	5,034	14,306	133		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	26,967㎡		2,369席		3,022,083冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	11,384㎡		野球場, 陸上競技場, サッカー・ラグビー場 外					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島大学						学生募集停止学科数	78	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
総合科学部	4	160	—	640	—	1.06	1.06	—	昭和49	—	
総合科学科	4	120	—	480	学士(総合科学)	1.05	1.05	平成30	昭和49	広島県東広島市鏡山一丁目7番1号	
国際共創学科	4	40	—	160	学士(総合科学)	1.07	1.07	—	平成30	同上	
文学部	4	130	3年次10	540	—	1.05	1.05	—	昭和24	—	
人文学科	4	130	3年次10	540	学士(文学)	1.05	1.05	平成30	平成9	広島県東広島市鏡山一丁目2番3号	
教育学部	4	445	—	1,780	—	1.02	1.02	—	昭和24	—	
第一類(学校教育系)	4	157	—	628	学士(教育学)	1.01	1.01	平成30	平成12	広島県東広島市鏡山一丁目1番1号	
第二類(科学文化教育系)	4	82	—	328	学士(教育学)	1.01	1.02	平成30	平成12	同上	
第三類(言語文化教育系)	4	73	—	292	学士(教育学)	1.02	1.01	平成30	平成12	同上	
第四類(生涯活動教育系)	4	81	—	324	学士(教育学)	1.03	1.02	平成30	平成12	同上	
第五類(人間形成基礎系)	4	52	—	208	学士(心理学)	1.05	1.03	平成30	平成12	同上	
法学部	4	170	3年次20	720	—	1.05	1.03	—	昭和52	—	
法学科(昼間コース)	4	140	3年次10	580	学士(法学)	1.05	1.04	—	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	30	3年次10	140	学士(法学)	1.07	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号	
経済学部	4	195	3年次10	800	—	1.04	1.00	—	昭和52	—	
経済学科(昼間コース)	4	150	3年次5	610	学士(経済学)	1.04	1.00	平成30	平成7	広島県東広島市鏡山一丁目2番1号	
(夜間主コース)	4	45	3年次5	190	学士(経済学)	1.01	1.00	平成30	平成7	広島県広島市中区東千田町一丁目1番8号	
理学部	4	230	3年次10(学部共通)	940	—	1.04	1.02	—	昭和24	—	
数学科	4	47		188	学士(理学)	1.03	1.00	—	昭和24	広島県東広島市鏡山一丁目3番1号	
物理学科	4	66		264	学士(理学)	1.03	1.00	—	平成10	同上	
化学科	4	59		236	学士(理学)	1.04	1.05	—	昭和24	同上	
生物科学科	4	34		136	学士(理学)	1.06	1.08	—	平成5	同上	
地球惑星システム学科	4	24		96	学士(理学)	1.04	1.00	—	平成4	同上	
医学部	6	118	—	716	—	1.00	1.00	—	昭和28	—	
	4	120	—	480	—	1.02	1.05	—	平成4	—	
医学科	6	118	—	716	学士(医学)	1.00	1.00	令和2	昭和28	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	入学定員変更(13)
保健学科											
看護学専攻	4	60	—	240	学士(看護学)	1.02	1.06	—	平成4	同上	
理学療法専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.01	1.06	—	平成4	同上	
作業療法専攻	4	30	—	120	学士(保健学)	1.01	1.00	—	平成4	同上	
歯学部	6	53	—	318	—	1.00	1.00	—	昭和40	—	
	4	40	—	160	—	1.03	1.00	—	平成21	—	
歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	1.00	—	昭和40	広島県広島市南区霞一丁目2番3号	
口腔健康科学科											
口腔保健学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.03	1.00	—	平成21	同上	
口腔工学専攻	4	20	—	80	学士(口腔健康科学)	1.02	1.00	—	平成21	同上	

薬学部	6	38	—	228	—	1.04	1.05	—	平成18	—	
	4	22	—	88	—	1.08	1.04	—	平成18	—	
薬学科	6	38	—	228	学士(薬学)	1.04	1.05	—	平成18	広島県広島市南区段一丁目2番3号	
薬科学科	4	22	—	88	学士(薬科学)	1.08	1.04	—	平成18	同上	
工学部	4	445	3年次15	1,810	—	1.03	1.03	—	昭和24	—	
第一類(機械システム工学系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	広島県広島市鏡山一丁目4番1号	平成30年度学生募集停止
第二類(電気・電子・システム・情報系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第四類(建設・環境系)	4	—	—	—	学士(工学)	—	—	—	平成13	同上	平成30年度学生募集停止
第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)	4	150	3年次5	610	学士(工学)	1.02	1.03	—	平成30	同上	
第二類(電気電子・システム情報系)	4	90	3年次3	366	学士(工学)	1.05	1.04	—	平成30	同上	
第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)	4	115	3年次4	468	学士(工学)	1.00	1.02	平成30	平成13	同上	
第四類(建設・環境系)	4	90	3年次3	366	学士(工学)	1.06	1.03	—	平成30	同上	
生物生産学部	4	90	3年次10	380	—	1.08	1.04	—	昭和54	—	
生物生産学科	4	90	3年次10	380	学士(農学)	1.08	1.04	—	昭和54	広島県広島市鏡山一丁目4番4号	
情報科学部	4	80	3年次5	330	—	1.07	1.05	—	平成30	—	
情報科学科	4	80	3年次5	330	学士(情報科学)	1.07	1.05	—	平成30	広島県広島市鏡山一丁目4番1号	
大学全体	—	2,336	80	9,930	—	—	—	—	—	—	
人間社会科学部	前期2	420	—	840	—	0.86	0.69	—	令和2	—	
	後期3	135	—	270	—	0.82	0.70	—	令和2	—	
	専2	30	—	60	—	0.88	0.96	—	令和2	—	
	専3	20	—	40	—	0.82	0.75	—	令和2	—	
	修2	2	—	2	—	1.00	—	—	令和2	—	
人文社会科学専攻(博士課程)	前期2	257	—	514	修士(文学) 修士(心理学) 修士(法学) 修士(経済学) 修士(経営学) 修士(マネジメント) 修士(国際協力学) 修士(学術)	0.75	0.54	—	令和2	広島県広島市鏡山一丁目2番3号	
	後期3	85	—	170	博士(文学) 博士(心理学) 博士(法学) 博士(経済学) 博士(経営学) 博士(マネジメント) 博士(国際協力学) 博士(学術)	0.65	0.54	—	令和2		
教育科学専攻(博士課程)	前期2	163	—	326	修士(教育学) 修士(教育心理学) 修士(国際協力学) 修士(学術)	1.02	0.91	—	令和2	広島県広島市鏡山一丁目1番1号	
	後期3	50	—	100	博士(教育学) 博士(教育心理学) 博士(国際協力学) 博士(学術)	1.12	0.98	—	令和2		
教職開発専攻(専門職学位課程)	専2	30	—	60	教職修士(専門職)	0.88	0.96	—	令和2	広島県広島市鏡山一丁目1番1号	
実務法学専攻(専門職学位課程)	専3	20	—	40	法務修士(専門職)	0.82	0.75	—	令和2	広島県広島市中区東千田町一丁目1番10号	
広島大学・グラーツ大学国際連携サステイナビリティ学専攻(修士課程)	修2	2	—	2	修士(学術)	1.00	—	—	令和2	広島県広島市鏡山一丁目5番1号	入学時期：10月

先進理工系科学研究科	前期2	449	—	898	—	1.12	1.09	—	令和2	—	
	後期3	128	—	256	—	0.66	0.50	—	令和2	—	
先進理工系科学専攻 (博士課程)	修2	2	—	2	—	1.00	—	—	令和2	—	
	前期2	449	—	898	修士(理学) 修士(工学) 修士(情報科学) 修士(国際協力)	1.12	1.09	—	令和2	広島県広島市鏡山一丁目4番1号	
広島大学・ライブ ツィヒ大学国際連携サ ステイナビリティ学専 攻 (修士課程)	後期3	128	—	256	修士(理学) 修士(工学) 修士(情報科学) 修士(国際協力)	0.66	0.50	—	令和2		
	修2	2	—	2	修士(学術)	1.00	—	—	令和2	広島県広島市鏡山一丁目5番1号	入学時期：10月
統合生命科学研究科	前期2	170	—	340	—	0.95	0.94	—	平成31	—	
	後期3	70	—	210	—	0.46	0.40	—	平成31	—	
統合生命科学専攻 (博士課程)	前期2	170	—	340	修士(理学) 修士(工学) 修士(農学) 修士(学術)	0.95	0.94	—	平成31	広島県広島市鏡山1丁目4番4号 広島県広島市鏡山1丁目3番1号 広島県広島市鏡山1丁目7番1号	
	後期3	70	—	210	博士(理学) 博士(工学) 博士(農学) 博士(学術)	0.46	0.40	—	平成31		
医系科学研究科	博4	97	—	291	—	1.09	1.04	—	平成31	—	
	前期2	76	—	152	—	0.98	1.02	—	平成31	—	
医歯薬学専攻 (博士課程)	後期3	25	—	75	—	1.09	1.32	—	平成31	—	
	博4	97	—	291	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	1.09	1.04	—	平成31	広島県広島市南区院一丁目2番3号	
総合健康科学専攻 (博士課程)	前期2	76	—	152	修士(医科学) 修士(歯科学) 修士(公衆衛生学) 修士(薬科学) 修士(看護学) 修士(保健学) 修士(口腔健康科学)	0.98	1.02	—	平成31	広島県広島市南区院一丁目2番3号	
	後期3	25	—	75	修士(学術) 博士(医科学) 博士(歯科学) 博士(薬科学) 博士(看護学) 博士(保健学) 博士(口腔健康科学) 博士(学術)	1.09	1.32	—	平成31		
総合科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
総合科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	平成18	広島県広島市鏡山一丁目7番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(学術)	—	—	—	平成18		令和2年度学生募集停止
文学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	前期2	—	—	—	修士(文学)	—	—	—	平成13	広島県広島市鏡山一丁目2番3号	令和2年度学生募集停止
教育学研究科	後期3	—	—	—	博士(文学)	—	—	—	平成13		令和2年度学生募集停止
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学習開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
文化教育開発専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
教育人間科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学)	—	—	—	平成12	同上	平成28年度学生募集停止
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
学習開発専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
教科教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

日本語教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
心理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成12	同上	令和2年度学生募集停止
高等教育学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(教育学) 修士(心理学) 修士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
教育学習科学専攻 (博士課程)	後期3	—	—	—	博士(教育学) 博士(心理学) 博士(学術)	—	—	—	平成28	同上	令和2年度学生募集停止
社会科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法政システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(法学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	広島県広島市鶴山一丁目2番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(法学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
社会経済システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(経済学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(経済学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
マネジメント専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(マネジメント)	—	—	—	平成12	広島県広島市中区東千田町一丁目1番9号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(マネジメント)	—	—	—	平成12		令和2年度学生募集停止
理学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
数学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	広島県広島市鶴山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
物理科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
生物科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		平成31年度学生募集停止
地球惑星システム学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	昭和28	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	昭和28		令和2年度学生募集停止
数理分子生命学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学)	—	—	—	平成11		平成31年度学生募集停止
先端物質科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
量子物質科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成10	広島県広島市鶴山一丁目3番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成10		令和2年度学生募集停止
分子生命機能科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成10	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成10		平成31年度学生募集停止
半導体集積科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(理学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—	—	平成16	同上	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(理学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—	—	平成16		令和2年度学生募集停止
医歯薬保健学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医歯薬学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学) 博士(学術)	—	—	—	平成24	広島県広島市南區段一丁目3番3号	平成31年度学生募集停止
口腔健康科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(口腔健康科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
薬科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(薬科学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(薬科学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止
保健学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(看護学) 修士(保健学)	—	—	—	平成24	同上	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(看護学) 博士(保健学)	—	—	—	平成24		平成31年度学生募集停止

工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
機械システム工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	広島県東広島市鞆山一丁目4番1号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
機械物理学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
システムサイバネティクス専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
					博士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
情報工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
化学工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
応用化学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
社会基盤環境工学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
輸送・環境システム専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
建築学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成22	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	—	平成22	—	—	令和2年度学生募集停止
生物圏科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生物資源科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	—	平成18	—	広島県東広島市鞆山一丁目4番4号	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成18	—	—	平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	—	平成18	同上	—	平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	—	平成18	—	—	平成31年度学生募集停止
生物機能開発学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	—	平成18	同上	—	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成18	—	—	平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	—	平成18	—	—	平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	—	平成18	—	—	平成31年度学生募集停止
環境循環系制御学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(農学)	—	—	—	—	平成11	同上	—	平成31年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成11	—	—	平成31年度学生募集停止
					博士(農学)	—	—	—	—	平成11	—	—	平成31年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	—	平成11	—	—	平成31年度学生募集停止
医歯薬学総合研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創生医科学専攻 (博士課程)	4	—	—	—	博士(医学)	—	—	—	—	平成14	—	広島県広島市南区院一丁目2番3号	平成24年度学生募集停止
					博士(歯学)	—	—	—	—	平成14	—	—	—
					博士(医薬学)	—	—	—	—	平成14	—	—	—
					博士(学術)	—	—	—	—	平成14	—	—	—
国際協力研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
開発科学専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成6	—	広島県東広島市鞆山一丁目5番4号	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	—	平成6	—	—	令和2年度学生募集停止
					修士(農学)	—	—	—	—	平成6	—	—	—
					博士(学術)	—	—	—	—	平成6	—	—	—
					博士(工学)	—	—	—	—	平成6	—	—	—
					博士(農学)	—	—	—	—	平成6	—	—	—
教育文化専攻 (博士課程)	前期2	—	—	—	修士(学術)	—	—	—	—	平成7	同上	—	令和2年度学生募集停止
	後期3	—	—	—	修士(教育学)	—	—	—	—	平成7	—	—	令和2年度学生募集停止
					博士(学術)	—	—	—	—	平成7	—	—	令和2年度学生募集停止
					博士(教育学)	—	—	—	—	平成7	—	—	令和2年度学生募集停止
法務研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法務専攻 (専門職学位課程)	—	—	—	—	法務博士(専門職)	—	—	—	—	平成16	—	広島県広島市中区安土町一丁目1番8号	令和2年度学生募集停止
大学院全体	—	1,624	—	3,436	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大学の名称	〇〇短期大学					学生募集停止学科数			平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数				備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
	年	人	年次人	人		倍	倍						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医系科学研究科 総合健康科学専攻（博士課程後期）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	松浦 伸也 <平成31年4月> 医学博士 生命・医療倫理学B※ 放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究	松浦 伸也 <平成31年4月> 医学博士 生命・医療倫理学B※ 放射線統合医科学※ 放射線生物学入門※ 放射線災害復興学※ 長期フィールドワーク/ 長期インターンシップ 特別演習 特別研究	松浦 伸也 <平成31年4月> 医学博士 生命・医療倫理学B※ 放射線統合医科学※ 放射線生物学入門※ 放射線災害復興学※ 長期フィールドワーク/ 長期インターンシップ 特別演習 特別研究	松浦 伸也 <平成31年4月> 医学博士 生命・医療倫理学B※ 放射線統合医科学※ 放射線生物学入門※ 放射線災害復興学※ ヒロシマ復興史※ 特別演習 特別研究		
専	教授	吉栖 正生 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究	吉栖 正生 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究	吉栖 正生 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究	吉栖 正生 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究		
専	教授	檜山 英三 <平成31年4月> 医学博士 研究方法論B※ 特別演習 特別研究	檜山 英三 <平成31年4月> 医学博士 研究方法論B※ がん診療各論※ 特別演習 特別研究	檜山 英三 <平成31年4月> 医学博士 研究方法論B※ がん診療各論※ 特別演習 特別研究	檜山 英三 <平成31年4月> 医学博士 研究方法論B※ がん診療各論※ 特別演習 特別研究		
専	教授	田代 聡 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究	田代 聡 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 放射線統合医科学※ 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】 特別演習 特別研究	田代 聡 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 放射線統合医科学※ 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】 特別演習 特別研究	田代 聡 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 放射線統合医科学※ 放射線生物学入門※ 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】 特別演習 特別研究		
専	教授	相澤 秀紀 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエンスの創生展開※ 特別演習 特別研究	相澤 秀紀 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエンスの創生展開※ 特別演習 特別研究	相澤 秀紀 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエンスの創生展開※ 特別演習 特別研究	相澤 秀紀 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエンスの創生展開※ 特別演習 特別研究		
専	教授	松浪 勝義 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエンスの創生展開※ 生薬学特別演習 生薬学特別研究	松浪 勝義 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエンスの創生展開※ 生薬学特別演習 生薬学特別研究	松浪 勝義 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエンスの創生展開※ 薬科学特講※ 生薬学特別演習 生薬学特別研究	松浪 勝義 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエンスの創生展開※ 薬科学特講※ 生薬学特別演習 生薬学特別研究		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	森山(奥本) 美知子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	森山(奥本) 美知子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	森山(奥本) 美知子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	森山(奥本) 美知子 <平成31年4月> 博士(医学)
		Environment and Health Research Methodology and Health System Management ヘルスプロモーション研究法論※ Advanced Research Methodology in Health Science Global Health Challenges and Solutions II 成人看護方法開発学特講 成人看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究			Environment and Health Research Methodology and Health System Management ヘルスプロモーション研究法論※ Advanced Research Methodology in Health Science Global Health Challenges and Solutions II 成人看護方法開発学特講 成人看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究			Environment and Health Research Methodology and Health System Management ヘルスプロモーション研究法論※ Advanced Research Methodology in Health Science Global Health Challenges and Solutions II 成人看護方法開発学特講 成人看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究			Environment and Health Research Methodology and Health System Management ヘルスプロモーション研究法論※ Advanced Research Methodology in Health Science Global Health Challenges and Solutions II 成人看護方法開発学特講 成人看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	砂川 融 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	砂川 融 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	砂川 融 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	砂川 融 <平成31年4月> 博士(医学)
		ヘルスプロモーション研究法論※ 上肢機能解析制御科学特講 上肢機能解析制御科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			上肢機能解析制御科学特講 上肢機能解析制御科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			上肢機能解析制御科学特講 上肢機能解析制御科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			上肢機能解析制御科学特講 上肢機能解析制御科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	折山 早苗 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授	折山 早苗 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授	折山 早苗 <平成31年4月> 博士(看護学)	専	教授	折山 早苗 <平成31年4月> 博士(看護学)
		多職種連携B※ ヘルスプロモーション研究法論※ 基礎看護技術開発学特講 基礎看護技術開発学特講演習 看護開発科学特別研究			基礎看護技術開発学特講 基礎看護技術開発学特講演習 看護開発科学特別研究			基礎看護技術開発学特講 基礎看護技術開発学特講演習 看護開発科学特別研究			基礎看護技術開発学特講 基礎看護技術開発学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	祖父江 育子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	祖父江 育子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	祖父江 育子 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	祖父江 育子 <平成31年4月> 博士(医学)
		ヘルスプロモーション研究法論※ 小児看護方法開発学特講 小児看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究			小児看護方法開発学特講 小児看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究			小児看護方法開発学特講 小児看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究			小児看護方法開発学特講 小児看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	浦邊 幸夫 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	浦邊 幸夫 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	浦邊 幸夫 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	浦邊 幸夫 <平成31年4月> 博士(医学)
		ヘルスプロモーション研究法論※ スポーツリハビリテーション学特講 スポーツリハビリテーション学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			スポーツリハビリテーション学特講 スポーツリハビリテーション学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			スポーツリハビリテーション学特講 スポーツリハビリテーション学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			スポーツリハビリテーション学特講 スポーツリハビリテーション学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究 放射線災害医療学※ 【隔年】 短期フィールドワーク

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浦川 将 <平成31年4月> 博士(医学)
		多職種連携B※ ヘルスプロモーション研究法論※ 生体構造学特講 生体運動・動作解析学特講 運動器機能医科学特講 生体構造学特講演習 生体運動・動作解析学特講演習 運動器機能医科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	桐本 光 <平成31年4月> 博士(医学)
		多職種連携B※ ヘルスプロモーション研究法論※ 感覚運動神経科学特講 感覚運動神経科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	梯 正之 <平成31年4月> 医学博士
		Advanced Statistics in Health Science 健康情報学特講 健康情報学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	小林 敏生 <平成31年4月> 博士(医学)
		健康推進科学特講 成人健康学特講 健康推進科学特講演習 成人健康学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	大平 光子 <平成31年4月> 博士(看護学)
		ヘルスプロモーション研究法論※ 助産・母性看護方法開発学特講 助産・母性看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	宮下 美香 <平成31年4月> 博士(保健学)
		臨床腫瘍学※ ヘルスプロモーション研究法論※ 老年・がん看護方法開発学特講 老年・がん看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浦川 将 <平成31年4月> 博士(医学)
		多職種連携B※ 生体構造学特講 運動器機能医科学特講 生体構造学特講演習 運動器機能医科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	桐本 光 <平成31年4月> 博士(医学)
		多職種連携B※ 感覚運動神経科学特講 感覚運動神経科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	梯 正之 <平成31年4月> 医学博士
		Advanced Statistics in Health Science 健康情報学特講 健康情報学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	大平 光子 <平成31年4月> 博士(看護学)
		ヘルスプロモーション研究法論※ 助産・母性看護方法開発学特講 助産・母性看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	宮下 美香 <平成31年4月> 博士(保健学)
		臨床腫瘍学※ ヘルスプロモーション研究法論※ 老年・がん看護方法開発学特講 老年・がん看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浦川 将 <平成31年4月> 博士(医学)
		多職種連携B※ 生体構造学特講 運動器機能医科学特講 生体構造学特講演習 運動器機能医科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	桐本 光 <平成31年4月> 博士(医学)
		多職種連携B※ 感覚運動神経科学特講 感覚運動神経科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	梯 正之 <平成31年4月> 医学博士
		Advanced Statistics in Health Science ヘルスプロモーション研究法論※ 健康情報学特講 健康情報学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	大平 光子 <平成31年4月> 博士(看護学)
		ヘルスプロモーション研究法論※ 助産・母性看護方法開発学特講 助産・母性看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	宮下 美香 <平成31年4月> 博士(保健学)
		臨床腫瘍学※ ヘルスプロモーション研究法論※ 老年・がん看護方法開発学特講 老年・がん看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浦川 将 <平成31年4月> 博士(医学)
		多職種連携B※ ヘルスプロモーション研究法論※ 生体構造学特講 運動器機能医科学特講 生体構造学特講演習 運動器機能医科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	桐本 光 <平成31年4月> 博士(医学)
		感覚運動神経科学特講 感覚運動神経科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	梯 正之 <平成31年4月> 医学博士
		Advanced Statistics in Health Science 健康情報学特講 健康情報学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	大平 光子 <平成31年4月> 博士(看護学)
		ヘルスプロモーション研究法論※ 助産・母性看護方法開発学特講 助産・母性看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究
専	教授	宮下 美香 <平成31年4月> 博士(保健学)
		臨床腫瘍学※ ヘルスプロモーション研究法論※ 老年・がん看護方法開発学特講 老年・がん看護方法開発学特講演習 看護開発科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	岡村 仁 <平成31年4月> 医学博士	専	教授	岡村 仁 <平成31年4月> 医学博士	専	教授	岡村 仁 <平成31年4月> 医学博士	専	教授	岡村 仁 <平成31年4月> 医学博士
		精神機能制御科学特講 精神機能制御科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			精神機能制御科学特講 精神機能制御科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			精神機能制御科学特講 精神機能制御科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究			精神機能制御科学特講 精神機能制御科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	教授	二川 浩樹 <平成31年4月> 歯学博士	専	教授	二川 浩樹 <平成31年4月> 歯学博士	専	教授	二川 浩樹 <平成31年4月> 歯学博士	専	教授	二川 浩樹 <平成31年4月> 歯学博士
		口腔健康科学特講Ⅰ※ 口腔健康科学特講Ⅱ※ 応用口腔生物学特別演習 口腔リハビリテーション工学特別演習 応用口腔生物・リハビリテーション工学特別研究			口腔健康科学特講Ⅰ※ 口腔健康科学特講Ⅱ※ 応用口腔生物学特別演習 口腔リハビリテーション工学特別演習 応用口腔生物・リハビリテーション工学特別研究			口腔健康科学特講Ⅰ 口腔健康科学特講Ⅱ 応用口腔生物学特別演習 口腔リハビリテーション工学特別演習 応用口腔生物・リハビリテーション工学特別研究			口腔健康科学特講Ⅰ 口腔健康科学特講Ⅱ 応用口腔生物学特別演習 口腔リハビリテーション工学特別演習 応用口腔生物・リハビリテーション工学特別研究
専	教授	坂口 剛正 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	坂口 剛正 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	坂口 剛正 <平成31年4月> 博士(医学)	専	教授	坂口 剛正 <平成31年4月> 博士(医学)
		口腔健康科学特講Ⅰ※ 特別演習 特別研究			研究手法論B※ 口腔健康科学特講Ⅰ※ 特別演習 特別研究			研究手法論B※ 特別演習 特別研究			研究手法論B※ 特別演習 特別研究
専	教授	里田 隆博 <平成31年4月> 歯学博士									
		生体構造・機能修復学特別演習 生体構造・機能修復学特別研究									
専	教授	村山 長 <平成31年4月> 博士(工学)	専	教授	村山 長 <平成31年4月> 博士(工学)	専	教授	村山 長 <平成31年4月> 博士(工学)	専	教授	村山 長 <平成31年4月> 博士(工学)
		医療システム工学特別演習 医療システム工学特別研究			生体構造・機能修復学特別演習 医療システム工学特別演習 生体構造・機能修復学特別研究 医療システム工学特別研究			医療システム工学特別演習 医療システム工学特別研究			医療システム工学特別演習 医療システム工学特別研究
専	教授	竹本 俊伸 <平成31年4月> 歯学博士	専	教授	竹本 俊伸 <平成31年4月> 歯学博士	専	教授	竹本 俊伸 <平成31年4月> 歯学博士	専	教授	竹本 俊伸 <平成31年4月> 歯学博士
		口腔保健・衛生学特別演習 口腔保健管理学特別演習 口腔保健・衛生学特別研究 口腔保健管理学特別研究			口腔保健管理学特別演習 口腔保健管理学特別研究			口腔保健管理学特別演習 口腔保健管理学特別研究			口腔保健管理学特別演習 口腔保健管理学特別研究
専	教授	内藤 真理子 <平成31年4月> 博士(歯学)	専	教授	内藤 真理子 <平成31年4月> 博士(歯学)	専	教授	内藤 真理子 <平成31年4月> 博士(歯学)	専	教授	内藤 真理子 <平成31年4月> 博士(歯学)
		多職種連携B※ 口腔保健発達機能学特別演習 口腔健康増進学特別演習 口腔保健発達・健康増進学特別研究			多職種連携B※ 口腔保健発達機能学特別演習 口腔健康増進学特別演習 口腔保健発達・健康増進学特別研究			多職種連携B※ 口腔保健発達機能学特別演習 口腔健康増進学特別演習 口腔保健発達・健康増進学特別研究			多職種連携B※ 口腔保健発達機能学特別演習 口腔健康増進学特別演習 口腔保健発達・健康増進学特別研究
専	教授	高野 幹久 <平成31年4月> 薬学博士	専	教授	高野 幹久 <平成31年4月> 薬学博士	専	教授	高野 幹久 <平成31年4月> 薬学博士	専	教授	高野 幹久 <平成31年4月> 薬学博士
		薬科学特講※ 薬物動態解析・制御科学特別演習 薬物動態解析・制御科学特別研究			薬物動態解析・制御科学特別演習 薬物動態解析・制御科学特別研究			薬科学特講※ 薬物動態解析・制御科学特別演習 薬物動態解析・制御科学特別研究			薬科学特講※ 薬物動態解析・制御科学特別演習 薬物動態解析・制御科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黒田 照夫 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※ 微生物医薬品開発学特別演習 微生物医薬品開発学特別研究
専	教授	熊本 卓哉 <平成31年4月> 博士(薬学) 創薬合成化学特別演習 創薬合成化学特別研究
専	教授	小池 透 <平成31年4月> 薬学博士 医薬分子機能科学特別演習 医薬分子機能科学特別研究
専	教授	森岡 徳光 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬効解析科学特別演習 薬効解析科学特別研究
専	教授	今泉 和則 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 規雄 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	武島 幸男 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	吉子 裕二 <平成31年4月> 博士(歯学) 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黒田 照夫 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※ 微生物医薬品開発学特別演習 微生物医薬品開発学特別研究
専	教授	熊本 卓哉 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※ 創薬合成化学特別演習 創薬合成化学特別研究
専	教授	小池 透 <平成31年4月> 薬学博士 医薬分子機能科学特別演習 医薬分子機能科学特別研究
専	教授	森岡 徳光 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬効解析科学特別演習 薬効解析科学特別研究
専	教授	今泉 和則 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 規雄 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	武島 幸男 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	吉子 裕二 <平成31年4月> 博士(歯学) 特別演習 特別研究
専	教授	太田 耕司 <令和元年5月> 博士(歯学) 口腔保健・衛生学特別演習 口腔保健・衛生学特別研究
専	教授	中西 一義 <平成31年4月> 博士(医学) ヘルスプロモーション研究法論※ 生理機能情報科学特講 生理機能情報科学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黒田 照夫 <平成31年4月> 博士(薬学) 微生物医薬品開発学特別演習 微生物医薬品開発学特別研究
専	教授	熊本 卓哉 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※ 創薬合成化学特別演習 創薬合成化学特別研究
専	教授	小池 透 <平成31年4月> 薬学博士 医薬分子機能科学特別演習 医薬分子機能科学特別研究
専	教授	森岡 徳光 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬効解析科学特別演習 薬効解析科学特別研究
専	教授	今泉 和則 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 規雄 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	武島 幸男 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	吉子 裕二 <平成31年4月> 博士(歯学) 特別演習 特別研究
専	教授	太田 耕司 <令和元年5月> 博士(歯学) 口腔保健・衛生学特別演習 口腔保健・衛生学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	黒田 照夫 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※ 微生物医薬品開発学特別演習 微生物医薬品開発学特別研究
専	教授	熊本 卓哉 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※ 創薬合成化学特別演習 創薬合成化学特別研究
専	教授	小池 透 <平成31年4月> 薬学博士 薬科学特講※ 医薬分子機能科学特別演習 医薬分子機能科学特別研究
専	教授	森岡 徳光 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬効解析科学特別演習 薬効解析科学特別研究
専	教授	今泉 和則 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	酒井 規雄 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	武島 幸男 <平成31年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
専	教授	吉子 裕二 <平成31年4月> 博士(歯学) 特別演習 特別研究
専	教授	太田 耕司 <令和元年5月> 博士(歯学) 口腔保健・衛生学特別演習 口腔保健・衛生学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下江 幸司 <平成31年4月> 博士(歯学) 生体構造・機能修復学特別演習 生体構造・機能修復学特別研究
専	准教授	湯元 良子 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬物動態解析・制御科学特別演習
専	講師	藤本(松山) 紗央里 <平成31年4月> 博士(看護学) 助産・母性看護方法開発学特講演習
専	講師	大塚 美樹 <平成31年4月> 博士(保健学) 地域・在宅看護方法開発学特講演習
専	講師	前田 慶明 <平成31年4月> 博士(保健学) スポーツリハビリテーション学特講 スポーツリハビリテーション学特講演習
専	講師	藤田 直人 <平成31年4月> 博士(保健学) 運動器機能医科学特講 運動器機能医科学特講演習
専	講師	高橋 真 <平成31年4月> 博士(学術) 生体運動・動作解析学特講演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下江 幸司 <平成31年4月> 博士(歯学) 生体構造・機能修復学特別演習 生体構造・機能修復学特別研究
専	准教授	湯元 良子 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬物動態解析・制御科学特別演習
専	講師	藤本(松山) 紗央里 <平成31年4月> 博士(看護学) 助産・母性看護方法開発学特講演習
専	講師	前田 慶明 <平成31年4月> 博士(保健学) スポーツリハビリテーション学特講 スポーツリハビリテーション学特講演習
専	講師	藤田 直人 <平成31年4月> 博士(保健学) 運動器機能医科学特講 運動器機能医科学特講演習
専	教授	高橋 真 <平成31年4月> 博士(学術) ヘルスプロモーション研究法論※ 生体運動・動作解析学特講 生体運動・動作解析学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	講師	恒松 美輪子 <平成31年4月> 博士(保健学) 健康情報学特講 健康情報学特講演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下江 幸司 <平成31年4月> 博士(歯学) 生体構造・機能修復学特別演習 生体構造・機能修復学特別研究
専	准教授	湯元 良子 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬物動態解析・制御科学特別演習
専	講師	藤本(松山) 紗央里 <平成31年4月> 博士(看護学) 助産・母性看護方法開発学特講演習
専	講師	前田 慶明 <平成31年4月> 博士(保健学) スポーツリハビリテーション学特講 スポーツリハビリテーション学特講演習
専	講師	藤田 直人 <平成31年4月> 博士(保健学) 運動器機能医科学特講 運動器機能医科学特講演習
専	教授	高橋 真 <平成31年4月> 博士(学術) 生体運動・動作解析学特講 生体運動・動作解析学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	講師	恒松 美輪子 <平成31年4月> 博士(保健学) 健康情報学特講 健康情報学特講演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	下江 幸司 <平成31年4月> 博士(歯学) 生体構造・機能修復学特別演習 生体構造・機能修復学特別研究
専	准教授	湯元 良子 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬物動態解析・制御科学特別演習
専	准教授	加古 まゆみ <令和3年4月> 博士(看護学) Advanced Research Methodology in Health Science 放射線災害医療学※ (隔年)
専	准教授	熊谷 孝則 <令和3年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※ 微生物医薬品開発学特別研究 微生物医薬品開発学特別演習
専	講師	藤本(松山) 紗央里 <平成31年4月> 博士(看護学) 助産・母性看護方法開発学特講演習
専	講師	前田 慶明 <平成31年4月> 博士(保健学) スポーツリハビリテーション学特講 スポーツリハビリテーション学特講演習
専	講師	藤田 直人 <平成31年4月> 博士(保健学) 運動器機能医科学特講 運動器機能医科学特講演習
専	教授	高橋 真 <平成31年4月> 博士(学術) 生体運動・動作解析学特講 生体運動・動作解析学特講演習 心身機能生活制御科学特別研究
専	講師	恒松 美輪子 <平成31年4月> 博士(保健学) 健康情報学特講 健康情報学特講演習 看護開発科学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	助教	川見 昌史 <平成31年4月> 博士(薬科学) 薬物動態解析・制御科学 特別演習	専	助教	川見 昌史 <平成31年4月> 博士(薬科学) 薬物動態解析・制御科学 特別演習	専	助教	川見 昌史 <平成31年4月> 博士(薬科学) 薬物動態解析・制御科学 特別演習	専	助教	川見 昌史 <平成31年4月> 博士(薬科学) 薬物動態解析・制御科学 特別演習
			専	助教	松山 亮太 <令和元年5月> 博士(獣医学) Advanced Statistics in Health Science	専	助教	松山 亮太 <令和元年5月> 博士(獣医学) Advanced Statistics in Health Science	専	助教	松山 亮太 <令和元年5月> 博士(獣医学) Advanced Statistics in Health Science
			専	助教	姜 影 <平成31年4月> 博士(工学) Advanced Statistics in Health Science	専	助教	姜 影 <平成31年4月> 博士(工学) Advanced Research Methodology in Health Science Advanced Statistics in Health Science 成人看護方法開発学特講 成人看護方法開発学特講演習			
						専	助教	中村 庸輝 <令和2年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※			
									専	助教	澤渡 浩之 <令和3年4月> 博士(保健学) 周手術期・クリティカル ケア開発学特講 周手術期・クリティカル ケア開発学特講演習
									専	助教	衣笠 泰葉 <令和3年4月> 博士(理学) 放射線生物学入門※ 特別演習 特別研究
									専	助教	白井 孝宏 <令和3年4月> 博士(薬科学) 創薬合成化学特別演習 創薬合成化学特別研究
									専	助教	森田 大地 <令和3年4月> 博士(薬学) 微生物医薬品開発学特別 研究 微生物医薬品開発学特別 演習
									専	助教	中嶋 龍 <令和3年4月> 博士(理学) 創薬合成化学特別演習 創薬合成化学特別研究
									専	助教	木下 恵美子 <令和3年4月> 博士(薬学) 研究方法論B※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小池 一彦 <平成31年4月> 博士(水産学) スペシャリスト型SDGsアイディアマイニング学生セミナー
兼任	教授	河合 幸一郎 <平成31年4月> 医学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	中坪 孝之 <平成31年4月> 理学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	柳原 宏和 <平成31年4月> 博士(理学) データサイエンス
兼任	教授	栗田 多喜夫 <平成31年4月> 博士(工学) パターン認識と機械学習
兼任	教授	三須 敏幸 <平成31年4月> 博士(理学) データサイエンティスト養成 リーダーシップ手法 高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント 長期インターンシップ イノベーション演習
兼任	教授	田中 純子 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 臨床腫瘍学※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	工藤 美樹 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 生命・医療倫理学B※ バイオメディカルサイエンスの創生展開※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小池 一彦 <平成31年4月> 博士(水産学) スペシャリスト型SDGsアイディアマイニング学生セミナー
兼任	教授	河合 幸一郎 <平成31年4月> 医学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	中坪 孝之 <平成31年4月> 理学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	柳原 宏和 <平成31年4月> 博士(理学) データサイエンス
兼任	教授	栗田 多喜夫 <平成31年4月> 博士(工学) パターン認識と機械学習
兼任	教授	三須 敏幸 <平成31年4月> 博士(理学) データサイエンティスト養成 リーダーシップ手法 高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント 長期インターンシップ イノベーション演習
兼任	教授	田中 純子 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 特別演習 特別研究 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】
兼任	教授	工藤 美樹 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 生命・医療倫理学B※ バイオメディカルサイエンスの創生展開※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小池 一彦 <平成31年4月> 博士(水産学) スペシャリスト型SDGsアイディアマイニング学生セミナー
兼任	教授	河合 幸一郎 <平成31年4月> 医学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	中坪 孝之 <平成31年4月> 理学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	柳原 宏和 <平成31年4月> 博士(理学) データサイエンス
兼任	教授	三須 敏幸 <平成31年4月> 博士(理学) データサイエンティスト養成 リーダーシップ手法 高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント 長期インターンシップ イノベーション演習
兼任	教授	田中 純子 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 特別演習 特別研究 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】
兼任	教授	工藤 美樹 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 生命・医療倫理学B※ バイオメディカルサイエンスの創生展開※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	渡邊 龍憲 <令和3年4月> 博士(リハビリテーション療法学) 感覚運動神経科学特講演習
専	助教	AKUTSU SILVIA NATSUKO <令和3年4月> 博士(医学) 放射線生物学入門※
専	助教	榎谷 桂 <令和3年4月> 博士(医学) 特別演習 特別研究
兼任	教授	小池 一彦 <平成31年4月> 博士(水産学) スペシャリスト型SDGsアイディアマイニング学生セミナー
兼任	教授	中坪 孝之 <平成31年4月> 理学博士 普遍的平和を目指して※
兼任	教授	三須 敏幸 <平成31年4月> 博士(理学) データサイエンティスト養成 リーダーシップ手法 高度イノベーション人材のためのキャリアマネジメント 長期インターンシップ イノベーション演習
兼任	教授	田中 純子 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 特別演習 特別研究 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】
兼任	教授	工藤 美樹 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 生命・医療倫理学B※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森川 則文 <平成31年4月> 博士(薬学) 生命・医療倫理学B※
兼任	教授	有廣 光司 <平成31年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※ 生命・医療倫理学B※ 臨床腫瘍学※
兼任	教授	杉山 一彦 <平成31年4月> 博士(医学) 生命・医療倫理学B※ 臨床腫瘍学※
兼任	教授	粟井 和夫 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	服部 登 <平成31年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	志馬 伸朗 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※
兼任	教授	木村 浩彰 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※
兼任	教授	柿本 直也 <平成31年4月> 博士(歯学) 多職種連携B※
兼任	教授	橋本 浩一 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	宿南 知佐 <平成31年4月> 博士(歯学) 研究方法論B※ バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	小澤 孝一郎 <平成31年4月> 薬学博士 研究方法論B※ 薬物治療学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森川 則文 <平成31年4月> 博士(薬学) 生命・医療倫理学B※
兼任	教授	有廣 光司 <平成31年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※ 生命・医療倫理学B※ 臨床腫瘍学※
兼任	教授	杉山 一彦 <平成31年4月> 博士(医学) 生命・医療倫理学B※ がん診療各論※
兼任	教授	粟井 和夫 <平成31年4月> 医学博士 医療情報リテラシー活用※ 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】
兼任	教授	服部 登 <平成31年4月> 博士(医学) 医療情報リテラシー活用※
兼任	教授	志馬 伸朗 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※
兼任	教授	木村 浩彰 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※
兼任	教授	柿本 直也 <平成31年4月> 博士(歯学) 多職種連携B※
兼任	教授	橋本 浩一 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	宿南 知佐 <平成31年4月> 博士(歯学) 研究方法論B※ バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	小澤 孝一郎 <平成31年4月> 薬学博士 研究方法論B※ 薬物治療学※ 薬科学特講※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森川 則文 <平成31年4月> 博士(薬学) 薬科学特講※
兼任	教授	有廣 光司 <平成31年4月> 博士(医学) 生命・医療倫理学B※ 臨床腫瘍学※
兼任	教授	杉山 一彦 <平成31年4月> 博士(医学) 生命・医療倫理学B※ がん診療各論※
兼任	教授	粟井 和夫 <平成31年4月> 医学博士 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】
兼任	教授	志馬 伸朗 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※
兼任	教授	木村 浩彰 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※
兼任	教授	柿本 直也 <平成31年4月> 博士(歯学) 多職種連携B※
兼任	教授	橋本 浩一 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	宿南 知佐 <平成31年4月> 博士(歯学) 研究方法論B※ バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	小澤 孝一郎 <平成31年4月> 薬学博士 研究方法論B※ 薬物治療学※ 薬科学特講※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	有廣 光司 <平成31年4月> 博士(医学) 生命・医療倫理学B※ 臨床腫瘍学※
兼任	教授	杉山 一彦 <平成31年4月> 博士(医学) 生命・医療倫理学B※ がん診療各論※
兼任	教授	粟井 和夫 <平成31年4月> 医学博士 初期被ばく・内部被ばく・疫学演習※【隔年】
兼任	教授	志馬 伸朗 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※
兼任	教授	木村 浩彰 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※
兼任	教授	柿本 直也 <平成31年4月> 博士(歯学) 多職種連携B※
兼任	教授	橋本 浩一 <平成31年4月> 博士(医学) 研究方法論B※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	宿南 知佐 <平成31年4月> 博士(歯学) 研究方法論B※ バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	小澤 孝一郎 <平成31年4月> 薬学博士 研究方法論B※ 薬物治療学※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	浅野 知一郎 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	加藤 功一 <平成31年4月> 博士(工学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	田原 栄俊 <平成31年4月> 博士(薬学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※
兼任	教授	大段 秀樹 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 生体工医学イノベーショ ンB※
兼任	教授	永田 靖 <平成31年4月> 医学博士 臨床腫瘍学※ 放射線統合医科学※ がん診療各論※
兼任	教授	岡田 守人 <平成31年4月> 博士(医学) 臨床腫瘍学※
兼任	教授	松尾 裕彰 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※ 臨床腫瘍学※
兼任	教授	岡本 泰昌 <平成31年4月> 博士(医学) 臨床腫瘍学※
兼任	教授	保田 浩志 <平成31年4月> 博士(工学) 放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	浅野 知一郎 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	加藤 功一 <平成31年4月> 博士(工学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	田原 栄俊 <平成31年4月> 博士(薬学) 研究方法論B※ バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※
兼任	教授	大段 秀樹 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※
兼任	教授	永田 靖 <平成31年4月> 医学博士 臨床腫瘍学※ がん診療各論※
兼任	教授	松尾 裕彰 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※ 臨床腫瘍学※
兼任	教授	保田 浩志 <平成31年4月> 博士(工学) 放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	浅野 知一郎 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	加藤 功一 <平成31年4月> 博士(工学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	田原 栄俊 <平成31年4月> 博士(薬学) 研究方法論B※ バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 薬科学特講※
兼任	教授	大段 秀樹 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※
兼任	教授	永田 靖 <平成31年4月> 医学博士 臨床腫瘍学※ がん診療各論※
兼任	教授	松尾 裕彰 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※ 臨床腫瘍学※ 薬物治療学※ 薬科学特講※
兼任	教授	保田 浩志 <平成31年4月> 博士(工学) 普遍的平和を目指して※ 放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	浅野 知一郎 <平成31年4月> 博士(医学) バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	加藤 功一 <平成31年4月> 博士(工学) 特別演習 特別研究
兼任	教授	田原 栄俊 <平成31年4月> 博士(薬学) 研究方法論B※ バイオメディカルサイエ ンスの創生展開※ 薬科学特講※
兼任	教授	永田 靖 <平成31年4月> 医学博士 臨床腫瘍学※ がん診療各論※ 初期被ばく・内部被ば く・疫学演習※【隔 年】
兼任	教授	松尾 裕彰 <平成31年4月> 博士(医学) 多職種連携B※ 臨床腫瘍学※ 薬物治療学※
兼任	教授	保田 浩志 <平成31年4月> 博士(工学) 普遍的平和を目指して※ 放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東 幸仁 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	稲葉 俊哉 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	一戸 辰夫 <平成31年4月> 博士(医学)
		がん診療各論※
兼任	教授	大毛 宏喜 <平成31年4月> 博士(医学)
		口腔健康科学特講Ⅰ※
兼任	教授	紙谷 浩之 <平成31年4月> 薬学博士
		薬科学特講※
兼任	教授	古武 弥一郎 <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬科学特講※
兼任	教授	杉山 政則 <平成31年4月> 工学博士
		薬科学特講※ 未病・予防医学特別演習 未病・予防医学特別研究
兼任	教授	河本 健 <平成31年4月> 医学博士
		英語論文修辞学
兼任	教授	池上 浩司 <平成31年4月> 博士(理学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	長尾 正崇 <平成31年4月> 医学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	外丸 祐介 <平成31年4月> 博士(生物環境調節学)
		特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東 幸仁 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	稲葉 俊哉 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 放射線生物学入門※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	一戸 辰夫 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※
兼任	教授	大毛 宏喜 <平成31年4月> 博士(医学)
		口腔健康科学特講Ⅰ※
兼任	教授	紙谷 浩之 <平成31年4月> 薬学博士
		薬科学特講※
兼任	教授	古武 弥一郎 <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬科学特講※
兼任	教授	杉山 政則 <平成31年4月> 工学博士
		薬科学特講※ 未病・予防医学特別演習 未病・予防医学特別研究
兼任	教授	河本 健 <平成31年4月> 医学博士
		英語論文修辞学
兼任	教授	池上 浩司 <平成31年4月> 博士(理学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	長尾 正崇 <平成31年4月> 医学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	外丸 祐介 <平成31年4月> 博士(生物環境調節学)
		研究方法論B※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東 幸仁 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	稲葉 俊哉 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 放射線生物学入門※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	一戸 辰夫 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※
兼任	教授	紙谷 浩之 <平成31年4月> 薬学博士
		薬科学特講※
兼任	教授	古武 弥一郎 <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬科学特講※
兼任	教授	杉山 政則 <平成31年4月> 工学博士
		薬科学特講※ 未病・予防医学特別演習 未病・予防医学特別研究
兼任	教授	河本 健 <平成31年4月> 医学博士
		英語論文修辞学
兼任	教授	池上 浩司 <平成31年4月> 博士(理学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	長尾 正崇 <平成31年4月> 医学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	外丸 祐介 <平成31年4月> 博士(生物環境調節学)
		研究方法論B※ 特別演習 特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	東 幸仁 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	稲葉 俊哉 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	一戸 辰夫 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※
兼任	教授	紙谷 浩之 <平成31年4月> 薬学博士
		薬科学特講※
兼任	教授	古武 弥一郎 <平成31年4月> 博士(薬学)
		薬科学特講※
兼任	教授	杉山 政則 <平成31年4月> 工学博士
		薬科学特講※ 未病・予防医学特別演習 未病・予防医学特別研究
兼任	教授	河本 健 <平成31年4月> 医学博士
		英語論文修辞学
兼任	教授	池上 浩司 <平成31年4月> 博士(理学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	長尾 正崇 <平成31年4月> 医学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	外丸 祐介 <平成31年4月> 博士(生物環境調節学)
		研究方法論B※ 特別演習 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	寺山 隆司 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	杉田 誠 <平成31年4月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	兼松 隆 <平成31年4月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	高橋 一郎 <平成31年4月> 歯学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	河口 浩之 <平成31年4月> 歯学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	川上 秀史 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	廣橋 伸之 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	小松澤 均 <令和元年5月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	神沼 修 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	吉永 信治 <平成31年4月> 博士(保健学)
		研究方法論B※ 特別演習 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	寺山 隆司 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	杉田 誠 <平成31年4月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	高橋 一郎 <平成31年4月> 歯学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	河口 浩之 <平成31年4月> 歯学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	川上 秀史 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	廣橋 伸之 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 放射線災害医療学※ 【隔年】 特別演習 特別研究
兼任	教授	小松澤 均 <令和元年5月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	神沼 修 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	吉永 信治 <平成31年4月> 博士(保健学)
		研究方法論B※ 特別演習 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	寺山 隆司 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	杉田 誠 <平成31年4月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	高橋 一郎 <平成31年4月> 歯学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	河口 浩之 <平成31年4月> 歯学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	川上 秀史 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	廣橋 伸之 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 放射線災害医療学※ 【隔年】 特別演習 特別研究
兼任	教授	小松澤 均 <令和元年5月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	神沼 修 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	吉永 信治 <平成31年4月> 博士(保健学)
		研究方法論B※ 特別演習 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	寺山 隆司 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	杉田 誠 <平成31年4月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	高橋 一郎 <平成31年4月> 歯学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	河口 浩之 <平成31年4月> 歯学博士
		特別演習 特別研究
兼任	教授	川上 秀史 <平成31年4月> 博士(医学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	廣橋 伸之 <平成31年4月> 博士(医学)
		放射線統合医科学※ 放射線災害医療学※ 【隔年】 長期フィールドワーク/ 長期インターンシップ 特別演習 特別研究
兼任	教授	小松澤 均 <令和元年5月> 博士(歯学)
		特別演習 特別研究
兼任	教授	神沼 修 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		放射線生物学入門※ 特別演習 特別研究
兼任	教授	吉永 信治 <平成31年4月> 博士(保健学)
		研究方法論B※ 特別演習 特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	田邊 和照 <平成31年4月> 博士(医学) がん診療各論※									
兼任	准教授	武知 正晃 <平成31年4月> 博士(歯学) 口腔健康科学特講Ⅱ※	兼任	准教授	武知 正晃 <平成31年4月> 博士(歯学) 口腔健康科学特講Ⅱ※						
兼任	准教授	HAYES CLAIR NELSON <平成31年4月> 博士(生物学) English Presentation	兼任	准教授	HAYES CLAIR NELSON <平成31年4月> 博士(生物学) English Presentation	兼任	准教授	HAYES CLAIR NELSON <平成31年4月> 博士(生物学) English Presentation	兼任	准教授	HAYES CLAIR NELSON <平成31年4月> 博士(生物学) English Presentation
			兼任	准教授	宮田 義浩 <平成31年4月> 博士(医学) 臨床腫瘍学※	兼任	准教授	宮田 義浩 <平成31年4月> 博士(医学) 臨床腫瘍学※			
			兼任	准教授	福島 伯泰 <平成31年4月> 博士(医学) 臨床腫瘍学※	兼任	准教授	福島 伯泰 <平成31年4月> 博士(医学) 臨床腫瘍学※	兼任	准教授	福島 伯泰 <平成31年4月> 博士(医学) 臨床腫瘍学※
			兼任	准教授	岩本 洋子 <平成31年4月> 博士(理学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー	兼任	准教授	岩本 洋子 <平成31年4月> 博士(理学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー	兼任	准教授	岩本 洋子 <平成31年4月> 博士(理学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー
			兼任	准教授	若林 香織 <平成31年4月> 博士(理学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー	兼任	准教授	若林 香織 <平成31年4月> 博士(理学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー	兼任	准教授	若林 香織 <平成31年4月> 博士(理学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー
			兼任	准教授	吉田 香奈 <平成31年4月> 修士(教育学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー	兼任	准教授	吉田 香奈 <平成31年4月> 修士(教育学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー	兼任	准教授	吉田 香奈 <平成31年4月> 修士(教育学) スペシャリスト型SDGsア イディアマイニング学生 セミナー
			兼任	准教授	友次 晋介 <平成31年4月> 博士(法学) 普遍的平和を目指して	兼任	准教授	友次 晋介 <平成31年4月> 博士(法学) 普遍的平和を目指して	兼任	准教授	友次 晋介 <平成31年4月> 博士(法学) 普遍的平和を目指して※
			兼任	准教授	小宮山 道夫 <平成31年4月> 修士(教育学) 普遍的平和を目指して						
			兼任	准教授	VAN DER DOES LULI <平成31年4月> PhD (Social Sciences) (イギリス) 普遍的平和を目指して	兼任	准教授	VAN DER DOES LULI <平成31年4月> PhD (Social Sciences) (イギリス) 普遍的平和を目指して	兼任	准教授	VAN DER DOES LULI <平成31年4月> PhD (Social Sciences) (イギリス) 普遍的平和を目指して※
			兼任	准教授	木阪 智彦 <平成31年4月> 博士(医学) バイオデザイン概論BⅠ※ バイオデザイン概論BⅡ※	兼任	准教授	木阪 智彦 <平成31年4月> 博士(医学) バイオデザイン概論BⅠ※ バイオデザイン概論BⅡ※	兼任	准教授	木阪 智彦 <平成31年4月> 博士(医学) バイオデザイン概論BⅠ※ バイオデザイン概論BⅡ※
			兼任	准教授	仲 一仁 <平成31年4月> 博士(医学) 放射線生物学入門※	兼任	准教授	仲 一仁 <平成31年4月> 博士(医学) 放射線生物学入門※	兼任	准教授	仲 一仁 <平成31年4月> 博士(医学) 放射線生物学入門※

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

<p><専任教員></p> <ul style="list-style-type: none">小林敏生教授、里田隆博教授、大塚美樹講師が辞職。太田耕司教授、中西一義教授、田邊和照教授、恒松美輪子講師、松山亮太助教、姜彰助教が専任教員として就任。高橋真准教授が教授に昇任。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">兼松隆教授、佐藤健一准教授、金山範明助教、小早川誠助教、三上幸夫助教が辞職。小松澤均教授、神沼修教授、吉永信治教授、宮内睦美教授、日山恵美教授、川野徳幸教授、神谷研二教授、宮田義浩准教授、福島伯泰准教授、岩本洋子准教授、若林香織准教授、吉田香奈准教授、友次晋介准教授、小宮山道夫准教授、VAN DER DOES LULI准教授、木阪智彦准教授、仲一仁准教授、恵木浩之准教授、藤高一慶講師、村上祐司講師、岡(赤崎)広子講師、倉田明子助教、服部稔助教、永井敦助教、松浦康之助教、谷本圭司助教、中田雄一郎助教が兼任教員として就任。田邊和照准教授が、教授昇任に伴い専任教員へ変更。恒松美輪子助教が、講師昇任に伴い専任教員へ変更。岡田守人教授、岡本泰昌教授、古武弥一郎教授、笹岡貴史准教授、河合秀彦准教授、亭島淳准教授、岡田賢講師、宮本達雄講師、三原圭一朗講師、河合幹雄講師、平田英司助教を担当から削除。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">梶濱誠教授、池野文昭教授、松下睦佳教授、清宮啓之教授、戸田常一教授、及川友好教授、JACQUES JEAN LOUIS LOCHARD教授、MAY ABDEL-WAHAB教授、RETHY KIETH CHHEM教授、ERIC J GRANT教授、権丈雅浩准教授、黒田悦史准教授、岡山幸誠准教授、渡邊郁剛准教授、川西聡政准教授、河原敦准教授、吉本敬太郎准教授、Samuel J K Abraham准教授、山口浩史講師が兼任教員として就任。農澤隆秀教授、坂本和夫教授、小松康雄教授、諫田泰成教授、植原秀人教授、近藤裕郷教授、西川一男准教授、小坂展慶准教授、岡崎紀子准教授、唯保祐介准教授、井戸克俊准教授を担当から削除。
--

【令和2年度】

<p><専任教員></p> <ul style="list-style-type: none">中西一義教授が辞職。久保達彦教授、保田朋波流教授、加来真人教授、新福洋子教授、眞溪歩教授、中村庸輝助教が専任教員として就任。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">細井徹准教授、恵木浩之准教授、中田雄一郎助教が辞職。古武弥一郎教授、吾郷由希夫教授、渡邊朋信教授、吉村健一教授、横大路智治准教授、猪川和朗准教授、牧野恵美准教授、伊森晋平准教授、仙谷和弘講師、三木大樹講師、高倉有二助教、赤瀬大助教、小原静夏助教が兼任教員として就任。相方浩講師、柳瀬雄輝助教、谷本圭司助教が准教授に昇任。栗田多喜夫教授、服部登教授、大毛宏喜教授、武知正晃准教授、小宮山道夫准教授を担当から削除。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">小松康雄教授、田妻進教授、松田範昭教授、皆川和之教授、木下智彦教授、西井龍一教授、楠田哲也教授、阿部伸一教授、原山優子教授、横山雄一准教授、隈元美穂子講師が兼任教員として就任。飯田理文教授、内匠透教授、松下睦佳教授、AIDA MAMMADOVA准教授、岡山幸誠准教授、川西聡政准教授、山口浩史講師を担当から削除。職名の変更：【准教授から教授】黒田悦史
--

【令和3年度】

<p><専任教員></p> <ul style="list-style-type: none">姜彰助教が辞職。中村庸輝助教を担当から削除。杉山大介教授、加古まゆみ准教授、熊谷孝則准教授、重石英生講師、澤渡浩之助教、衣笠泰葉助教、白井孝宏助教、森田大地助教、中嶋龍助教、木下恵美子助教、渡邊龍憲助教、AKUTSU SILVIA NATSUKO助教、榎谷桂助教が専任教員として就任。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">金子雅幸准教授、木下英司准教授が辞職。丸山史人教授、三原直樹教授、中野由紀子教授、野村涉教授、岡田守人教授、遠藤暁教授、福井敬祐准教授、笹谷めぐみ准教授、吉田隆行准教授、松尾美樹准教授、入江崇准教授、孫維英准教授、長命洋佑准教授、杉本潤助教、埴越崇範助教、中里亮太助教、FARYAL IJAZ助教、堀越保則助教、林田耕臣助教、三浦健人助教、神代紗央理助教、坂本信之助教、久保怜香助教、酒寄信幸助教、久保田明子助教、栗原令助教、藤吉奏助教、蝶慎一助教、吉野宏志助教が兼任教員として就任。細野賢治准教授が教授に昇任。村上祐司講師が准教授に昇任。河合幸一郎教授、柳原宏和教授、森川則文教授、大段秀樹教授、森野豊之准教授、宮田義浩准教授、仙谷和弘講師、永井敦助教、谷本圭司准教授を担当から削除。 <p><兼任教員></p> <ul style="list-style-type: none">長谷川有史教授、細井義夫教授、近藤久禎教授、富永隆子教授、大野龍男教授、山本尚幸教授、宮野悟教授、辻比呂志教授、北川英俊教授、二木史朗教授、宮野加奈子准教授、梶谷直人准教授、塩崎潤一講師、STYCZEK URSZULA MARIA講師が兼任教員として就任。田中剛教授、横尾京子教授、吉澤健一教授、小松康雄教授、皆川和之教授、西井龍一教授、権丈雅浩准教授、黒田悦史教授、川瀬真紀准教授を担当から削除。職名の変更：【講師から教授】隈元美穂子
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（A C教員審査）を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
16	11	15
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
40	4	5	1	50	0	47	6	5	11	69	0
(41)	(4)	(4)	(2)	(51)	(0)						
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当教員数	/		
44	6	0				53	13	3			
(45)	(5)	(1)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
48	6	5	11	70	0	48	6	5	11	70	0
[8]	[2]	[0]	[10]	[20]	[0]	[8]	[2]	[0]	[10]	[20]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当教員数	/		
54	13	3				54	13	3			
[10]	[7]	[3]				[10]	[7]	[3]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{70}{50} = \boxed{140} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	小林 敏生	H30.8	選択	健康推進科学特講	①	H30.8 辞職のため（元）			
				選択	成人健康学特講	①				
				選択	健康推進科学特講演習	①				
				選択	成人健康学特講演習	①				
				選択	看護開発科学特別研究	①				
2	教授	里田 隆博	H31.3	選択	生体構造・機能修復学特別演習	①	H31.3 任期満了退職のため（元）			
				選択	生体構造・機能修復学特別研究	①				
3	講師	大塚 美樹	H31.3	選択	地域・在宅看護方法開発学特講演習	①	H31.3 辞職のため（元）			
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	8	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	8	科目	計	8	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	中西 一義	R2.3	選択	ヘルスプロモーション研究法論※	①	R2.4.1付けて他大学へ転出のため。(2)			
				選択	生理機能情報科学特講	①				
				選択	生理機能情報科学特講演習	①				
				選択	心身機能生活制御科学特別研究	①				
2	助教	姜 影	R2.12	選択	Advanced Research Methodology in Health Science	①	R2.12.31辞職のため。(3)			
				選択	Advanced Statistics in	①				
				選択	成人看護方法開発学特講	①				
				選択	成人看護方法開発学特講演習	①				
3	助教	中村 庸輝	R3.3	選択	薬科学特講※	①	R3.4.1授業担当から外れたため。(3)			
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	9	科目	選択	9	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
6	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{6}{50} = \boxed{12} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退者が担当していた授業科目のうち、複数人体制のものは、他の専任教員が授業を実施しているため、学生の履修等への影響はない。就任辞退者のみが担当していた授業科目については、未開講となったが、現在、後任教員を選考中である。学生へは、学生便覧、時間割、ガイダンス等で周知している。

なお、辞職または退職に伴う就任辞退者13名のうち、4名については後任教員を採用済みであり、その他のポストについても候補者選考中または、今後人事委員会に対し人員措置申請を行う予定である。(元)

辞任者が担当していた授業科目は、他の専任教員が授業を実施しているため、学生の履修等への影響はない。(2)

辞任者が担当していた授業科目は、他の専任教員が授業を実施しているため、学生の履修等への影響はない。学生へは、学生便覧、時間割、シラバス等で周知している。(3)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医系科学研究科 総合健康科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>新型コロナウイルス感染症に対する対応として、6月15日までは、対面による授業は中止し、オンラインによる授業を実施している。(2)</p> <p>その後、十分な感染防止対策を講じた上で対面授業を導入し、科目の特性に応じた方法で授業を実施した。</p> <p>令和3年度は、原則対面での授業を実施しているが、渡日できない留学生を含め、通学できない学生については、オンラインでの受講も可能とする対応を行っている。(3)</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ①医系科学研究科長室会議(構成員:17名)
- ②医系科学研究科教育委員会(委員:18名)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

- ①令和元年度:14回開催(平均13名出席)
令和2年度:15回開催(平均15名出席)
- ②令和元年度:12回開催(平均10名出席)
令和2年度:12回開催(平均10名出席)

c 委員会の審議事項等

- ①教育研究及び管理運営等に関する重要事項に関する企画立案
- ②カリキュラム, 研究指導體制, 学生募集, 入学試験, 学位申請, 学位論文審査委員会委員の推薦,
その他教務・学生生活に関すること

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 全学FD研修会
- ・ 医系科学研究科FD
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

- ・ 全学で実施するFDへの参加
- ・ 医系科学研究科独自で実施するFDへの参加
- ・ 全学で実施する新任教員研修プログラムへの参加
- ・ 学生による授業改善アンケート

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ 医系科学研究科 F D

令和元年8月28日開催（参加教員数76名）

令和元年9月12日開催（参加教員数77名）

令和2年12月10日開催＊オンライン開催（参加教員数42名）

令和2年12月22日開催＊オンライン開催（参加教員数79名）

・ 新任教員のための研修会

平成31年4月2日開催（参加教員数18名）

令和元年10月1日開催（参加教員数25名）

令和2年度は動画配信による受講（受講者数40名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生によるアンケート結果に基づき、授業の改善を図るとともにシラバスに反映させる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 全学で実施している授業改善アンケートにより毎学期（ターム）終了時に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 情報ポータルサイト「もみじ」に集計結果を公表（自由記述欄の意見は担当教員のみ閲覧可能）

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置時の計画どおり順調に履行している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を推進していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和3年7月頃

b 公表方法

大学の公式ウェブサイト上で公表

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和5年度に(独)大学改革支援・学位授与機構による大学機関別認証評価を受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

- a 公表予定の有無 [有]
- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。